

平成19年度  
大雪・富良野ルート活動報告

0. 地域活動報告の概要
1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
3. 地域及び行政の運営に関する報告
4. 審査委員会意見に関する報告

0-地域活動報告の概要

・地域活動に関する報告(大雪・富良野ルート)

ルート名称:大雪・富良野ニセコルート	報告者:副代表 北島 澁・佐々木 淳(代表不在の為)	報告年月:2008/3/31
--------------------	----------------------------	----------------

	方針	方策	活動No	平成19年度 総括
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	北海道らしい雄大な景観を美しく見せる		継続的に実施している沿道の清掃活動や花の植栽活動、除素活動は、今後もさらに継続し、より広域での実施を目指す。また、景観に関わるルール等については、大雪・富良野ルート全体に関わる検討や具体的な事例等を積み上げ、ルート全体の景観ルール等の作成を目指す。
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を高めるために、阻害要因の除去や道路施設の整備を行う	T - 1	
		ビューポイントを整備して大雪山・十勝岳連峰の眺めを楽しめるようにする		
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を確保するためのルール整備を進める	T - 1	
	波状丘陵地の田園景観を保全する	田園風景保全のための仕組みを観光と関連を持たせながら検討する	T - 2	
		田園景観を保全するためのルールなどの検討を行う	T - 1	
		田園景観を整えるために様々な農業施設を景観にも配慮されるようにする	T - 1	
	花人街道としての景観を整える	地域の原風景としての景観を保全するための研究を行う	T - 3	
		沿道の関係地域全体で花による沿道景観の演出を行う	T - 4	
		花人街道として田園部、市街地を含めた景観形成の方針を検討する	T - 1	
沿道の景観阻害要因に対しての修景計画の策定を行う				
		森林景観を保全するための活動計画の策定を行う		
地域づくり	活力ある地域づくり	ルート全体の情報共有化と連携の強化を図る	5 6 7 8 T -	今年度から、ルートパンフレットも発行し、情報拠点を含め情報発信については充実した活動が実施できた。今後は情報拠点やルートパンフレットの利活用をさらに検討し、ルート全体の情報共有や情報発信を強化する。また、地域住民など多くの方が参加できる活動についても推進し、地域に根ざした活動を目指す。ユニバーサルデザインや自然、文化、歴史については、活動数が少ないが、今後も具体的な活動及び成功例を積み上げ、ルート全体への波及を目指す。
		地域の情報発信力を強化し、情報媒体の多彩化を図る	T - 9	
		地域住民参加への活動を強化する	T - 10	
			T - 11	
			T - 12	
			T - 10	
	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	シーニックの活動に対する地域の連携意識を醸成する	T - 12	
		各種キャンペーンの立案によって参加意識を高める	T - 13	
	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	安全な地域農産品の魅力を情報として発信する	T - 10	
			T - 13	
		農業体験観光を通して地域の魅力を紹介す	16 17 18 T -	
		地域の様々な分野の業界と資源を活用し総合力を高める	T - 12	
			T - 9	
		多面的で魅力あるルートの開発と紹介を行う	T - 11	
	T - 12			

	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保護活動を推進	大雪山・十勝岳連峰の原生林や貴重な野生物遺産の保全と・保護と監視を進める				
		自然の保全・保護に関する情報発信や啓蒙活動を行うとともに学術調査研究に協力する				
		歴史的建造物等の地域の歴史文化遺産、北海道遺産※などの利活用を図る				
		地域の自然・文化・歴史を活用した教育プログラムを推進する	T	-	18	
ユニバーサルデザインの推進	ユニバーサルデザインの推進	シーニック活動団体、行政などへのユニバーサルデザインの提案を行う	T	-	19	
		地域におけるユニバーサルデザインの啓蒙活動を行う	T	-	6	
			T	-	19	
観光振興	田園型リラクゼーション観光の充実	田園型リラクゼーション観光を充実させる				
		もてなしのシーニックバイウエイを充実させる	T	-	5 6 7 8	
			T	-	14 15 16 17 18	
	田園型リラクゼーション観光の充実	地域と来訪者との連携交流を充実させる		T	-	5 6 7 8
				T	-	13
	農業と連携した観光のしくみづくり	農業と連携した観光のしくみづくり	来訪者と農業生産者をつなぐ仕組みを検討する	T	-	5
			地域の農産物の新たな流通販売ルートを検討する	T	-	5
			ルートのコミュニティビジネス※を興すための検討を進める			16 17 18
	シーニック・ランドオペレーション機能の充実	シーニック・ランドオペレーション機能の充実		T	-	9
			シーニックバイウエイの情報網と発信機能を充実させる	T	-	5 6 7 8
シーニック情報中枢機能を充実させる						
					観光客への情報発信を目的とした情報拠点は、ルート全体に広がりより充実した情報発信が可能となった。今後は、ルート全体として、観光客への情報発信が行えるように、情報共有を進める。また、地域農業と連携したイベントや地場産品のPRについても充実した活動を実施出来た。今後は、地域の景観を支える農業との連携についても、成功事例を積み上げ、ルート全体への波及や農業へ寄与するルートのイメージアップやブランド化を検討する。	

## 大雪・富良野ルート

T-1

TAISETSU-FURANO ROUTE

サインの検討及び試行

【内 容】大雪・富良野ルートにおけるサインのあり方を検討。平成19年度は、旭川開発建設部に協力頂き、試験的に西神楽の情報拠点にてを設置した。

【日 時】通年

【場 所】シャングリラパーク

【主 催】大雪景観倶楽部



## 大雪・富良野ルート

T-2

TAISETSU-FURANO ROUTE

各種オーナー性を実施

【内 容】深山峠観光開発振興会では「じゃがいも一坪オーナー」かみふらの十勝岳観光協会は「ラベンダーオーナー性」美瑛では「赤麦のオーナー」を実施。景観保全を考えた取り組みとなった。

【日 時】通年

【場 所】美瑛・深山峠・上富良野町

【主 催】深山峠観光開発振興会・かみふらの十勝岳観光協会・赤麦を守る会



## 大雪・富良野ルート

T-3

TAISETSU-FURANO ROUTE

JRと国道の除草活動

【内 容】 景観の保全と農作物の害虫の発生を少しでも防ぐことを目的に、JRと国道の除草活動を実施。平成19年度の実施で3年目となった。当日は、瑞穂市民委員会など様々な方が参加し約2キロ区間の除草活動を実施

【日 時】 平成19年6月28日（木）

【場 所】 西神楽1線8号～11号（約2キロ区間）

【主 催】 NPO法人グラウンドワーク西神楽

【協 力】 JR北海道

【参加人数】 20名



実施後

## 大雪・富良野ルート

T-4

TAISETSU-FURANO ROUTE

各地での花植栽

【内 容】 道の駅ひがしかわ「道草館」周辺で、花の植栽活動を実施。道道沿い約2キロ区間の植樹帯や花壇に花を約1万2千株植栽した。

【主 催】 東川町花俱樂部

【場 所】 道の駅「道草館」の周辺

【実施日】 平成19年6月1日(金)  
13:30～15:00

【参加人数】 約80名

【内 容】 今年で7年目となった、国道237号沿道への花植栽を、今年もボランティアサポートプログラム制度を利用して実施。

【主 催】 深山峠観光開発振興会

【場 所】 トリックアート美術館前駐車帯等

【実施日】 平成19年5月22日(火)  
8:00～12:00

【参加人数】 約20名



## 大雪・富良野ルート

T-5

TAISETSU-FURANO ROUTE

情報拠点シャングリラパーク

【内 容】西神楽の元コンビニエンスストアを改装して、情報拠点を本格的にオープン。地元の農業団体「西神楽夢民村」の農産物の直売や旭川周辺の農産加工品を販売と共に、シーニックバイウェイ等の情報を提供した。

【日 時】平成19年6月1日～11月11日（期間中無休） 9:00～18:00

【場 所】旭川市西神楽1線17号

【主 催】西神楽夢民村 NPO法人グラウンドワーク西神楽

【参加人数】集計中



## 大雪・富良野ルート

T-6

TAISETSU-FURANO ROUTE

菊地晴夫写真ギャラリー

【内 容】ユニバーサルデザインを取り入れ、美瑛の美しい風景写真などを展示。写真グッズや障害者団体が作成しているユニバーサルデザインカップ「ユニカップ」の販売も行っている。シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルートの情報拠点として、美瑛周辺の観光案内や観光パンフレットの配布等も実施。

【日 時】平成19年4月28日～11月4日予定（期間中無休） 9:00～17:00

【場 所】美瑛町大久保協生（北西の丘展望公園向かい）

【主 催】NPO法人循環型社会立案サポートセンター

【参加人数】集計中



## 大雪・富良野ルート

T-7

TAISETSU-FURANO ROUTE

菊地晴夫写真ギャラリー

【内 容】大雪山・十勝岳連峰が一望できる島津駐車場・見晴台公園に情報拠点を開設。シーニックハイウェイや上富良野周辺の観光案内を行う。また、週末には地域の特産品等をPRするイベントも実施。  
【日 時】平成19年6月1日～10月下旬予定（期間中無休） 9:30～17:30  
【場 所】上富良野町西町（観音様向かい）  
【主 催】（社）かみふらの十勝岳観光協会・237花倶楽部  
【参加人数】集計中



## 大雪・富良野ルート

T-8

TAISETSU-FURANO ROUTE

情報拠点ふらの広場

【内 容】レストランやショップ、コミュニティFM「ラジオふらの」のスタジオ、UDトイレを備えた施設。「北の国から資料館」も隣接。飲食スペースでは、地元の食材にこだわった料理を提供している。  
【日 時】無休 11:00～21:30（15:00～17:00はクローズ）  
【場 所】富良野市朝日町5番17号  
【主 催】富良野エコミュージアム  
【参加人数】集計中



## 大雪・富良野ルート

T-9

TAISETSU-FURANO ROUTE

大雪・富良野ルート「夢紀行」 創刊号発行

【内 容】シーニックバイウェイ北海道及び大雪・富良野ルートのPR。ルート内の綺麗な写真やルート内の人を中心とした記事を掲載し、今までの冊子にないシーニックバイウェイらしい情報掲載を行った。

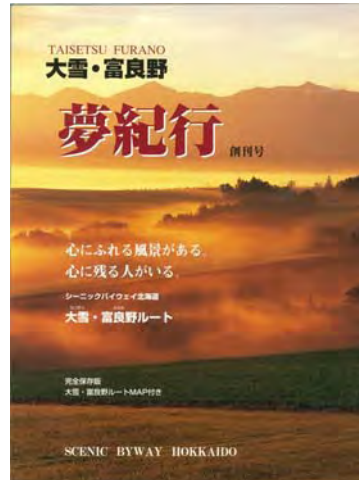
【日 時】2007年5月 発行

【主 催】大雪・富良野ルート

(発行：有限責任中間法人シーニックバイウェイ大雪・富良野ルート)

【協 力】赤麦を守る会、深山峠観光開発振興会、アルパインビジターセンター、旭山動物園、ふらの観光協会

【参加人数】発行：10,000部



## 大雪・富良野ルート

T-10

TAISETSU-FURANO ROUTE

秋の453 (ヨゴサン) キャンペーン

【内 容】5月27日(日)をゴミゼロキャンペーンとして、各地で沿道の清掃活動を実施。関係行政機関から軍手やゴミ袋の提供・火ばさみの貸し出しなど協力をえて清掃活動を行った。今年度は、旭川空港線の清掃活動も連携して行った。

【日 時】平成19年5月27日(日) 10:00~12:00

【場 所】上富良野(国道237号、道道 等)、西神楽(国道237号、道道 等)、旭川空港線

【主 催】ルート運営代表者会議

【協 力】千歳市、札幌開発建設部、(財)自然公園財団支笏湖支部

【参加人数】約150名(全会場総計)





## 大雪・富良野ルート

T-11

TAISETSU-FURANO ROUTE

### 第4回シーニックバイウェイ北海道大雪・富良野ルート「みち沿道景観フォトコンテスト」

- 【内 容】 ルート内の綺麗な景観写真の収集とシーニックバイウェイ北海道及び大雪・富良野ルートのPRを目的に、フォトコンテストをルートで開催。
- 【日 時】 募集期間8月1日～10月31日
- 【場 所】 ルート内で撮影された写真。
- 【主 催】 みち・沿道景観フォトコンテスト実行委員会
- 【協 力】 富士フィルムイメージング株式会社、富士フィルムイメージテック株式会社
- 【参加人数】 142人、543点



## 大雪・富良野ルート

T-12

TAISETSU-FURANO ROUTE

### ウィンターサーカス2008 in 大雪・富良野ルート

- 【内 容】 今回で、第3回目となるウィンターサーカスを開催。今回は、東日本高速道路株式会社と連携して砂川サービスエリア、輪厚パーキングエリアでも開催各会場では、暖かい飲食の提供や旭川発着の無料バスツアーを行った。
- 【日 時】 平成20年2月2日、3日 17:00～20:00
- 【場 所】 西神楽・見晴台公園・砂川SA・輪厚PA
- 【主 催】 シーニックバイウェイ北海道ウィンターサーカス実行委員会
- 【協 力】 東日本高速道路株式会社、コカコーラボトリング株式会社、地元企業 等
- 【参加人数】 西神楽会場（約200名）上富良野会場（約600名）



# 大雪・富良野ルート

T-13

TAISETSU-FURANO ROUTE

集中活動月間の開催

【内 容】地域イベントが多く開催される9月を「集中活動月間」として、既存の地域イベントを連携し、統一チラシを作成しPR活動を行った。

【日 時】平成19年9月

【主 催】大雪・富良野ルート

【参加人数】参加活動数：16

# 大雪・富良野ルート

T-14

TAISETSU-FURANO ROUTE

馬と音楽と星空と

【内 容】ウェスタン乗馬体験施設クラークホースガーデンにて、馬と音楽、夜空を楽しむイベント開催。料金は、大人2,500円 小中学生1,000円で、音楽ライブや焼肉などを行い楽しんだ。

【日 時】平成19年9月1日 14:00~20:00

【場 所】旭川市東旭川桜岡（クラークホースガーデン内）

【主 催】NPO法人ネイティブクラーク

【参加人数】約120名



## 大雪・富良野ルート

T-15

TAISETSU-FURANO ROUTE

とんとん祭り

【内 容】地元の名産品やアート工芸、朝もぎ野菜の販売を実施。会場には上富良野の特産物、豚サガリが楽しめる焼肉コーナーや、アマチュアバンドのコンサートも行われ、地元住民から観光客までが楽しめる継続イベント。

【日 時】平成19年9月22日（土）～24日（月・祝）

【場 所】思い出のふらの 駐車場（上富良野町深山峠）

【主 催】深山峠観光開発振興会、とんとんまつり実行委員会

【参加人数】約700名



## 大雪・富良野ルート

T-16

TAISETSU-FURANO ROUTE

秋の味覚市

【内 容】毎年恒例のイベント。上富良野の農産物や加工品の販売や飲食の販売、子供向けのSL無料乗車などのコーナーも設置された。また、商品開発中の上富良野の豚肉を使った肉まん「シーニックマン」の試食会も実施。

【日 時】平成19年10月7日（土） 10:00～16:00

【場 所】上富良野商工会セントラルプラザ横 中央コミュニティ広場

【主 催】上富良野町商工会商業部会、ほほえみスタンプ会

【参加人数】約700名



## 大雪・富良野ルート

T-17

TAISETSU-FURANO ROUTE

夢民村の収穫感謝祭

【内 容】情報拠点シャングリラパークにて、西神楽夢民村が主催の収穫感謝祭を開催。イベントでは、地元西神楽で収穫された農産物の販売と共に、餅つき大会と餅の無料配布、お米の試食会を開催。

【日 時】平成19年11月11日 10:00~16:00

【場 所】西神楽1線17号（シャングリラパーク）

【主 催】西神楽夢民村

【参加人数】約200名



## 大雪・富良野ルート

T-18

TAISETSU-FURANO ROUTE

雪のワークショップ

【内 容】ウィンターサーカスと連携し、西神楽聖和小学校、上富良野町教育委員会と連携して、雪に関するワークショップを開催。ワークショップでは、アートワークやキャンドルづくりも行い、ウィンターサーカス会場に展示を行った。

【日 時】平成20年1月28日・2月2日

【場 所】西神楽 聖和小学校・上富良野

【主 催】大雪・富良野ルート

【協 力】聖和小学校、上富良野町教育委員会、（社）北海道開発技術センター

【参加人数】各会場20名程度



## 大雪・富良野ルート

T-19

TAISETSU-FURANO ROUTE

おもてなしの地域づくりフォーラム

【内 容】伊勢志摩にて障害者の旅行支援を行っている、伊勢志摩バリアフリーツアーセンター理事長 中村元氏を招き、大雪・富良野ルートにおけるおもてなしの地域づくりについての検討とあり方を提案するフォーラムを開催。パネルディスカッションでは、大雪・富良野ルートからはユニバーサルデザインの活動を積極的に行っている菊地氏、北海道東海大学から小河先生、NPO法人旅とびあ北海道から下間氏、車椅子愚連隊から五十嵐氏が参加した。

【日 時】平成18年9月29日 14:00～17:00

【場 所】富良野市文化会館

【主 催】おもてなしの地域づくりフォーラム実行委員会、日本福祉のまちづくり学会北海道支部、シーニックハイウェイ支援センター

【参加人数】約150名



1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

(2) 地域活動に関する報告(大雪・富良野ルート)

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:副代表 北島 滋・佐々木 淳(代表不在の為)	報告年月:2008/3/31
-----------------	----------------------------	----------------

種類	方針	方策	平成19年度の活動内容	活動団体	活動実施日	参加人数	成果及び課題	総括	
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ	北海道らしい雄大な景観を美しく見せる	ルート内のビューポイントパークキング等のとるばへの登録	大雪・富良野ルート	通年	ルート内の4箇所を活動団体から応募	大雪・富良野ルートの景観ポイントについて、多くの方にPRでき、景観ポイントやルートへ誘導ができた。今後は、とるばの条件をクリアできる景観ポイントをさらに調査し、登録箇所を増加させる。	大雪山・十勝岳連峰を資源として、より景観を美しく見せる為に、ビューポイントなどの発掘とPRを充実させるとともに、景観改善・保全を考えたサインや景観ルールの検討を進め、モデルとなる取り組みを実施し、ルート全体へ波及させることを検討する。	
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を高めるために、阻害要因の除去や道路施設の整備を行う	ルート内におけるサインの方針やあり方について検討を実施。	大雪景観倶楽部	通年	大雪景観倶楽部 構成団体	ルート内におけるサインの方針やあり方を検討し、行政からの協力を得て西神楽の情報拠点にサインを試験的に設置。今後、さらに検討を進め、ルート全体としてのサイン計画やあり方を検討する。		
		ビューポイントを整備して大雪山・十勝岳連峰の眺めを楽しめるようにする	ルート内のビューポイントパークキング等のとるばへの登録	大雪・富良野ルート	通年	ルート内の4箇所を活動団体から応募	とるばに登録することで、大雪・富良野ルート内のビューポイントを様々な方が楽しめるようになった。今後は、さらに箇所数を増やし、ルートとしてもPR活動を実施する。		
		大雪山・十勝岳連峰への眺望性を確保するためのルールの整備を進める	ルート内におけるサインの方針やあり方について検討を実施。	大雪景観倶楽部	通年	大雪景観倶楽部 構成団体	景観ルールの検討及び策定を検討する上で、今年度はルート内のサインの方針やあり方を検討し、行政からの協力を得て西神楽の情報拠点にサインを試験的に設置。ルート全体としての検討は、今後の課題であり、関係行政機関が持っている条例等の整合性も視野に入れて検討する。		
	波状丘陵地の田園景観を保全する	田園景観保全のための仕組みを観光と関連を持たせながら検討する	T - 2	各種オーナー性を実施	NPO法人循環型社会立案サポートセンター-深山峠観光開発振興会(社)かみふらの十勝岳観光協会	通年、受付		美瑛では「赤麦」深山峠では「じゃがいも」「ラベンダー」のオーナー性を各活動団体が実施。観光や地域住民と景観保全をつなげる取り組みとなっている。オーナー性のPRと、オーナーの募集を充実が課題。	農業景観である波状丘陵地の田園風景を保全するためのオーナー性等の具体的な活動は継続的に実施していく。また、現在の成功例は、ルート全体への取り組みと出来るように活動を推進、団体同士の情報共有を強化する。
		田園景観を保全するためのルールなどの検討を行う	T - 1	ルート内におけるサインの方針やあり方について検討を実施。	大雪景観倶楽部	通年	大雪景観倶楽部 構成団体	サインの検討では、田園景観を保全及びよりよく見せることも視野にいれ検討を行った。今後、さらに検討を進め、地域としてのルール策定を目指す。	
		田園景観を整えるためにさまざまな農業施設を景観にも配慮されるようにする	T - 1	ルート内におけるサインの方針やあり方について検討を実施。	大雪景観倶楽部	通年	大雪景観倶楽部 構成団体	サイン検討では、農業施設に関する施設等のサインについても、ルール化を目指し検討を実施。地域に計画を広げる場合は、シーニックハイウェイへの理解や理念の普及が必要となる。	
	花人街道としての景観を整える	地域の原風景としての景観を保全するための研究を行う	T - 3	JRと国道の間の除草活動	NPO法人グラウンドワーク西神楽	平成19年6月28日(木)	約20名	地域住民と行政、JR北海道が連携し、JRと国道の間の約2区間の助走活動を実施。ボランティアの負担が大きく、今後は草刈り機を活用して容易に除草活動が出来るように整地を含めて、JRとの調整などを実施する。	各地で実施されている花の植栽活動については、広域での情報共有を進める。また、ゴミゼロキャンペーンなどの連携活動は、さらに多くの活動団体や地域、行政機関が関わる活動とできるように、検討を進める。
		沿道の関係地域全体で花による沿道景観の演出を行う	T - 4	各地で花の植栽活動と管理を実施	東川町花倶楽部深山峠観光開発振興会フラワランドかみふらの	春～秋	約100名	東川町市街地、深山峠、上富良野フラノブルマツオ前の沿道に花を各地の活動団体が植栽。花の苗については、行政からの支援を受けている。花の維持・管理について、体制や費用を含めて問題がある。	
		花人街道として田園部、市街地を含めた景観形成の方針を検討する	T - 1	ルート内におけるサインの方針やあり方について検討を実施。	大雪景観倶楽部	通年	大雪景観倶楽部 構成団体	大雪・富良野ルート内における田園部や市街地を含めたサインの方針やあり方を検討し、西神楽の情報拠点にて試験的にサインを設置。今後は、さらに検討を進めると共に、ルート全体の計画づくりを目指す。	
沿道の景観阻害要因に対するの修景計画の策定を行う		-	-	-	-	-	-		
森林景観を保全するための活動計画の策定を行う		-	-	-	-	-	-		

地域づくり	活力ある地域づくり	ルート全体の情報共有と連携の強化を図る	運営委員会にて組織体制の見直しと連携強化に向けた検討を実施。	運営委員会	通年	運営委員会メンバー	事務局体制の確立を視野に入れた、ルート全体の情報共有と連携強化に向けての検討を実施。事務局としての役割の明確化と参加活動団体とのさらなる情報共有が必要。	大雪・富良野ルートや地域の情報発信をより効果的に行うために、各情報発信媒体の連携を検討し、魅力的な大雪・富良野ルートの情報発信強化する。	
			5 6 7 8 各地で情報拠点を設置運営。	西神楽 夢民村NPO法人循環型社会立案サポートセンター(社)かみふらの十勝岳観光協会富良野エコミュージアム	シヤングリパーク7月1日～11月10日(9:00～18:00)菊地晴夫写真ギャラリー4月28日～11月4日(9:00～17:00)情報ステーション かみふらの見晴台6月1日～10月1日(9:30～17:30)ふらの広場通年(11:00～21:30(15:00～17:00はクローズ))		西神楽、美瑛、上富良野、富良野にシーニック情報拠点を設置。大雪・富良野ルートの情報を道路利用者や観光客に提供した。さらにルート全体の情報共有を強化して、統一的な情報発信ができるように、ルール化等を今後は検討。		
			T - 9	ルートパンフレットを発行	大雪・富良野ルート	通年	10,000部発行		大雪・富良野ルートに特化したルートのパンフレットを発行。大雪・富良野ルートの観光等を発信できる媒体となった。継続的に発行及び内容を充実させるために費用捻出や制作スタッフの充実等が課題である。
				沿道のコミュニティFM番組「morebyway」で放送する地域イベント情報は収集発信	大雪・富良野ルート	通年			大雪・富良野ルートの情報発信の強化として、全道のコミュニティFM番組で放送する毎月イベント情報を収集し情報発信を行った。安定した情報収集が難しく、ルートの事務局体制を含めて、仕組みづくりを行う。
		T - 10	各地で開催されている沿道の清掃活動を連携した、ゴミゼロキャンペーンを開催	NPO法人グラウンドワーク西神楽237花俱樂部	西神楽 平成19年5月18日10:00～12:00上富良野 平成19年5月27日 10:00～12:00	上富良野地区(約120名)西神楽地区(約30名)	地域住民が容易に参加できる沿道の清掃活動を「ゴミゼロキャンペーン」として連携。多くの地域住民がシーニックバイウェイの活動に参加するきっかけとなった。さらに多くの清掃活動をゴミゼロキャンペーンとして連携するための体制づくりを行う。		
		T - 11	第4回みち・沿道景観フォトコンテストを開催	みち・沿道景観フォトコンテスト実行委員会	募集期間8月1日～10月31日	142人、543点	写真愛好家や地域住民から多くの応募があり、様々な方がシーニックバイウェイの活動へ参加が出来る。よりたくさんの方が参加できるように仕組みづくりや広報の展開を今後は検討。		
		T - 12	冬の資源である「雪」を使ったイベント「ウィンターサーカス2007 in 大雪・富良野ルート」を開催	シーニックバイウェイ北海道大雪・富良野ルートウィンターサーカス実行委員会	平成20年2月2日～3日17:00～20:00	西神楽会場約300人、上富良野会場約600人	平成19年度はネクスコ東日本とも連携し、大雪・富良野ルート外にもウィンターサーカス会場を設け、より多くの方が参加できる活動とした。より多くの方に参加してもらうために、継続的な開催に向けての費用の捻出と地域住民を含めた制作体制等の構築が課題。		
		T - 10	各地で開催されている沿道の清掃活動を連携した、ゴミゼロキャンペーンを開催	NPO法人グラウンドワーク西神楽237花俱樂部	西神楽 平成19年5月18日10:00～12:00上富良野 平成19年5月27日 10:00～12:00	上富良野地区(約120名)西神楽地区(約30名)	ゴミゼロキャンペーンとして各地で実施されていた活動を連携し、ルート全体のイメージアップを図り、クリーンな大雪・富良野ルートをPRすることが出来た。今後もゴミゼロキャンペーンの参加活動を増やし、連携する意義や効果を身近に感じられるような体制づくりが必要。		
		T - 12	冬の資源である「雪」を使ったイベント「ウィンターサーカス2007 in 大雪・富良野ルート」を開催	シーニックバイウェイ北海道大雪・富良野ルートウィンターサーカス実行委員会	平成20年2月2日～3日17:00～20:00	西神楽会場約300人、上富良野会場約600人	広域で連携し冬にイベント「ウィンターサーカス in 大雪・富良野ルート」を開催。連携することで、広域的な広報や魅力あるイベントとなり、多くの方が訪れた。		
		T - 13	9月集中活動月間を開催	大雪・富良野ルート	9月		地域で開催されるイベントや活動を広域で連携し、集中活動月間として広報を実施。各地で連携することで、広域的な広報を実施すると共に、ルート全体の魅力向上に繋がった。9月以外の開催についても今後は検討が必要。		
		T - 10	各地で開催されている沿道の清掃活動を連携した、ゴミゼロキャンペーンを開催	NPO法人グラウンドワーク西神楽237花俱樂部	西神楽 平成19年5月18日10:00～12:00上富良野 平成19年5月27日 10:00～12:00	上富良野地区(約120名)西神楽地区(約30名)	ゴミゼロキャンペーンとして、平成19年度で3年目を迎え、地域住民の参加意識の醸成やクリーンなルートへのイメージアップを図ることが出来ている。より多くの地域や団体、住民が参加できるようにする。		
		T - 13	9月集中活動月間を開催	大雪・富良野ルート	9月		広域で連携し集中活動月間を開催することで、活動団体の情報共有を推進することが出来、連携意識や参加意識を向上することが出来た。連携でのメリット向上を検討し、より多くの活動団体が参加しやすくなるキャンペーンとする。		

地域づくり	安全な地域農産物の魅力を情報として発信する	T - 5	西神楽の情報拠点にて、地元農産物の産直を実施	西神楽 夢民村	7月1日～11月10日 9:00～18:00		情報拠点として、道路利用者や観光客に情報提供すると共に、地元農産物のPRを実施し利用者に好評を得た。利用者により地域農産物の魅力をPRできる方法を検討し、各情報拠点での情報発信に向けての検討を進める。	農業・観光・商業など様々な分野の企業や活動団体との連携を強化するとともに、お互いにメリットのある活動を実施し、成功例を積み上げる。連携による魅力的なルートを目指す。
		T - 16 T - 17 T - 18	夢民村の収穫感謝祭やとんとんまつり、味覚市にて地元農産物の販売とPRを実施。	西神楽 夢民村深山峠観光開発振興会上富良野町商工会商業部会	夢民村の収穫感謝祭7月1日～11月10日 9:00～18:00とんとんまつり9月22日～24日10:00～16:00味覚市10月7日10:00～16:00	夢民村の収穫感謝祭(約200人)、とんとんまつり(約7,500人)、味覚市(約700人)	秋の各地のイベントにて、地元農産物の販売やPRを実施。多くの参加者に向けて、効果的に安心安全で魅力的な農産物の情報発信をすることが出来た。	
	農業体験観光を通して地域の魅力を紹介する		-	-	-	-	-	
	地域の様々な分野の業界と資源を活用し総合力を高める	T - 12	冬の資源である「雪」を使ったイベント「ウィンターサーカス2007 in 大雪・富良野ルート」を開催	シーニックバイウェイ北海道大雪・富良野ルートウィンターサーカス実行委員会	平成20年2月2日～3日17:00～20:00	西神楽会場約300人、上富良野会場約600人	平成19年度は、ネクスコ東日本と連携して、砂川SAや輪厚PAでもイベント開催。イベント開催にあたり、地域の様々な企業等から協力を得た。継続的な開催に向けての活動費の捻出や様々な分野の企業等とのさらなる連携を進める。	
	多面的で魅力のあるルートの開発と紹介を行う	T - 9	ルートパンフレットを発行	大雪・富良野ルート	通年	10,000部発行	様々な魅力を観光客に向けて紹介するルートパンフレットを発行。今までの観光パンフレットでは、掲載されなかったような多面的な魅力を伝える媒体となった。継続的な発行に向けての資金捻出が課題である。	
	T - 11	第4回みち・沿道景観フォトコンテストを開催	みち・沿道景観フォトコンテスト実行委員会	募集期間8月1日～10月31日	142人、543点	大雪・富良野ルート内で撮影された写真によるフォトコンテストを開催することで、写真愛好家ならではの写真が多く集まり、大雪・富良野ルートの魅力をPR出来た。より多くの写真が応募されるように広報等を充実させる必要がある。		
T - 12	冬の資源である「雪」を使ったイベント「ウィンターサーカス2007 in 大雪・富良野ルート」を開催	シーニックバイウェイ北海道大雪・富良野ルートウィンターサーカス実行委員会	平成20年2月2日～3日17:00～20:00	西神楽会場約300人、上富良野会場約600人	今までの雪像とは違う、雪のランドアートを使ったイベントを開催。既存イベントの差別化を図ると共に、新たな雪を使ったイベントとしての認知度が向上した。今後は雪像とは違った魅力をより多くの人に紹介し、参加者を増加させる。			
地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進	大雪山・十勝岳連峰の原生林や貴重な野生生物遺産の保全・保護と監視を進める		-	-	-	-	-	
	自然の保全・保護に関する情報発信や啓蒙活動を行うとともに学術調査研究に協力する		-	-	-	-	-	
	歴史的建造物等の地域の歴史文化遺産、北海道遺産などの利活用を図る		大雪・富良野ルート内における歴史的ストーリー及び資源の活用検討	旭川田園都市会議富良野エコミュージアムラジオふらのNPO法人グリーンステージ	通年	検討会メンバー 4名	大雪・富良野ルート内における歴史的ストーリーを検討すると共に、歴史的建造物等を含めた歴史的資源の収集や活用方法を検討した。今後は、具体的な活用に向けての取り組みとし、ルート全体の資源収集を行う。	
	地域の自然・文化・歴史を活用した教育プログラムを推進する	T - 18	雪をテーマとしてワークショップを、ウィンターサーカスと連携して実施	NPO法人グラウンドワーク西神楽237花倶楽部	聖和小学校 1月28日上富良野町 2月2日	聖和小学校及び上富良野町、どちらも約20名	自然の資源を活用したワークショップを子供を対象に開催し、地域資源について理解を深めた。ワークショップを実施している地域が少なく、各地で実施できるように教育プログラムの確立を目指す。	
シーニック活動団体、行政などへのユニバーサルデザインの提案を行う	T - 19	ユニバーサルデザインやバリアフリーをテーマとした「おもてなしの地域づくりフォーラム」を開催。	大雪・富良野ルート	9月29日 14:00～17:00	約150人	ユニバーサルデザインやバリアフリーをテーマとしてフォーラムに活動団体及び関係行政が参加。大雪・富良野ルートにおける観光とユニバーサルデザイン、バリアフリーのあり方を提案するフォーラムとなった。今後としては、大雪・富良野ルートでのユニバーサルデザインやバリアフリーに関する具体的な取り組みを検討する。		



ユニバーサルデザインの推進	地域におけるユニバーサルデザインの啓蒙活動を行う	T - 6	ユニバーサルデザインを取り入れた情報拠点を運営	西神楽 夢民村NPO法人循環型社会立案サポートセンター	シャングリラパーク7月1日～11月10日 9:00～18:00菊地晴夫写真ギャラリー4月28日～11月4日 9:00～17:00		ユニバーサルデザインを取り入れた情報拠点を運営することで、一般利用者にわかりやすくユニバーサルデザインをPR出来た。より多くの方に、利用して貰えるように広報を充実すると共に、ユニバーサルデザインの概念を啓蒙する。	ユニバーサルデザインの理念や概念について活動団体や地域住民への普及を推進させる。また、具体的な取り組みを実施し、成功例を積み上げることで、ルート全体への波及についても検討する。	
		T - 19	ユニバーサルデザインやバリアフリーをテーマとした「おもてなしの地域づくりフォーラム」を開催。	大雪・富良野ルート	9月29日 14:00～17:00	約150人	ユニバーサルデザインをテーマとし、わかりやすい内容でフォーラムを開催することで、多くの方にユニバーサルデザインの理念や概念を啓蒙することが出来た。大雪・富良野ルートや各活動団体が具体的に取り組みることが検討できていないので、今後検討を進める。		
田園型リラクゼーション観光の充実	田園型リラクゼーション観光を充実させる		-	-	-	-	-	大雪・富良野ルートの資源を活用した、田園型のリラクゼーション観光の検討及び具体的な取り組みを進める。また、外国人旅行者など様々なニーズに合わせて、観光メニューの充実などを図る。	
	もてなしのシーニックバイウェイを充実させる	T - 5 6 7 8	各地で情報拠点を設置運営。	西神楽 夢民村NPO法人循環型社会立案サポートセンター(社)かみふらの十勝岳観光協会富良野エコミュージアム	シャングリラパーク7月1日～11月10日 9:00～18:00菊地晴夫写真ギャラリー4月28日～11月4日 9:00～17:00情報ステーション かみふらの見晴台6月1日～10月1日 9:30～17:30ふらの広場通年11:00～21:30(15:00～17:00)馬と音楽と星空と(約120人)、夢民村の収穫感謝祭(約200人)、とんとんまつり(約7,500人)、味覚市(約700人)		大雪・富良野ルートの情報発信を行い、ルートのおもてなしを演出した。充実した情報発信と情報拠点のルール化を進める。		
		T - 15 16 17 18	各地でのイベント開催	NPO法人ネイティブクラーク西神楽 夢見村NPO法人グラウンドワーク西神楽 深山峠観光開発振興会上富良野町商工会商業部会	14:00～20:00夢民村の収穫感謝祭7月1日～11月10日 9:00～18:00第10回リバーウォッチング8月5日 9:00～11:00	馬と音楽と星空と(約120人)、夢民村の収穫感謝祭(約200人)、とんとんまつり(約7,500人)、味覚市(約700人)			地域住民や観光客が楽しむことが出来るイベント各地で開催し、多くの参加者が訪れ楽しんだ。参加者へのシーニックバイウェイのPRが不足しており、今後は各地のイベントにおいてもシーニックバイウェイや大雪・富良野ルートのPRを充実させる。
	地域の来訪者との連携交流を充実させる	T - 5 6 7 8	各地で情報拠点を設置運営。	西神楽 夢民村NPO法人循環型社会立案サポートセンター(社)かみふらの十勝岳観光協会富良野エコミュージアム	11月10日 9:00～18:00菊地晴夫写真ギャラリー4月28日～11月4日 9:00～17:00情報ステーション かみふらの見晴台6月1日～10月1日 9:30～17:30ふらの広場通年11:00～21:30(15:00～17:00)				地域の来訪者に向けて、大雪・富良野ルートの情報発信を行うことで、来訪者との交流を充実させることが出来た。情報拠点で扱っている情報に偏りがあり、各情報拠点で統一した情報発信が出来ていない。情報拠点のルール化を進める。
		T - 13	9月集中活動月間を開催	大雪・富良野ルート	9月				集中活動月間として地域の来訪者に向けて、ルート全体の活動を広報し、各取り組みへの参加者の誘導を行った。集中活動月間としては、9月のみの開催であった為、通年で「地域と来訪者との連携交流を充実させる」ことが出来なかった。今後は、9月だけでなくその他の時期や通年での取り組みを検討する。
農業と連携した観光のしくみづくり	来訪者と農業生産者をつなぐしくみを検討する	T - 5	西神楽の情報拠点にて、地元農産物の産直を実施	西神楽 夢民村	7月1日～11月10日 9:00～18:00		情報拠点で地元農産物の産直を行うことで、来訪者と農業生産者をつなぐ新たな取り組みとなった。今年度は、西神楽のみの取り組みであり、その他の地域への波及等も検討する。	大雪・富良野ルートとして、安心安全な地域農産物のPRを充実し、ブランド力の強化を図る。また、農業と観光をより具体的に連携した仕組みづくりを検討し、成功例を積み上げる。農業景観を資源とした観光を推進すると共に、農業への理解を求めた活動も検討する。	
	地域の農産物の新たな流通ルートを検討する	T - 5	西神楽の情報拠点にて、地元農産物の産直を実施	西神楽 夢民村	7月1日～11月10日 9:00～18:00		農産物の新たな流通販売ルートとして、西神楽の情報拠点にて地元農産物の産直を実施。新たな流通のひとつとなり、モデルケースとなった。今後は、様々な農業団体との連携などを視野に入れ、他地域での実施も検討する。		
		T - 16 17 18	夢民村の収穫感謝祭やとんとんまつり、味覚市にて地元農産物の販売とPRを実施。	西神楽 夢民村深山峠観光開発振興会上富良野町商工会商業部会	夢民村の収穫感謝祭7月1日～11月10日 9:00～18:00とんとんまつり9月22日～24日 10:00～16:00味覚市10月7日 10:00～16:00	夢民村の収穫感謝祭(約200人)、とんとんまつり(約7,500人)、味覚市(約700人)			各地のイベントにて農産物のPRと販売を実施し、生産者と消費者をつなぐ流通となっている。多くの参加者の募集と、様々な農業団体との連携については今後検討する。
	ルートのコミュニティビジネスを興すための検討を進める		運営委員会にて組織体制の見直しと連携強化に向けた検討を実施。	運営委員会	通年		運営委員会メンバー		ルート運営組織を見直すと共に、事務局として持続的にルート運営を行うために、コミュニティビジネスについての検討も行った。具体的な実施は出来ていない。今後、具体的な取り組みに向けて、さらに検討を進める。

観光振興	シーニック・ランドオペレーション機能の充実	シーニックバイウェイの情報網と発信機能を充実させる	T - 9	ルートパンフレットを発行	大雪・富良野ルート	通年	10,000部発行	大雪・富良野ルートの情報発信を強化する「ルートパンフレット」を発行した。大雪・富良野ルートに特化した情報発信が可能であり、充実した情報発信を実施できた。継続的に発行する為の仕組みづくりが課題であり、今後は継続的な発行に向けての検討を進める。	情報拠点やルートパンフレットなど、各媒体の連携強化と統一的なイメージ戦略を検討する。また、各広報媒体の持続的な実施と運営に向けた検討を進める。
			T - 5 6 7 8	各地で情報拠点を設置運営。	西神楽 夢民村NPO法人循環型社会立案サポートセンター(社)かみふらの十勝岳観光協会富良野エコミュージアム	ジャンクワザハ〜7月1日〜11月10日 9:00~18:00菊地晴夫写真ギャラリー4月28日〜11月4日 9:00~17:00情報ステーション かみふらの見晴台6月1日〜10月1日 9:30~17:30ふらの広場通年11:00~21:20(15:00~17:00)		各地で情報拠点を設置、運営することで、情報網と発信機能の充実を図ることが出来た。現在は、各情報拠点ごとに情報発信を実施しており、今後は情報拠点同士のネットワーク化や情報の整備、ルール化を進め、さらに充実した情報発信を行う。	
		シーニック情報中枢機能を充実させる		運営委員会にて組織体制の見直しと連携強化に向けた検討を実施。	運営委員会	通年	運営委員会メンバー	運営組織の見直しと共に、大雪・富良野ルートの情報受発信の中心的な組織について検討を行った。今後は、具体的に情報受発信の中心となる組織の確立を目指す。	

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告  
 ・行政の事業に関する報告(大雪・富良野ルート)

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:旭川開発建設部	報告年月:2008/3/31	備考
-----------------	-------------	----------------	----

	基本方針	平成19年度の活動内容	実施機関	活動実施日	参加人数等	成果及び課題	総括	関連する活動団体
景観づくり	大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ							
	波状丘陵地の田園景観を保全する	第4回シーニックバイウェイ北海道「大雪・富良野ルート」みち・沿道景観フォトコンテストへの協力及び広報	旭川開発建設部、旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村	平成19年8月1日～10月31日作品募集		報道機関への投げ込み、各行政機関でのチラシ配布等により、テーマ①は応募人数140名、応募総数480点、テーマ②は応募人数約30名、応募総数約60点の作品が集まった。テーマ②「みち」のある風景については、応募作品数が少なかった。	今後もフォトコンテストに関する広報を実施し、さらにたくさんの人や作品が応募されるようにする。	みち・沿道景観フォトコンテスト実行委員会
		ゴミゼロキャンペーンとしての沿道の清掃活動に参加及びゴミ収集に協力、当日必要な火ばさみなどの備品を貸し出し	旭川開発建設部、旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、上富良野町、旭川市	平成19年5月27日(日)		ゴミ拾いの参加者は、上富良野地区で約100名、西神楽地区で約40名と多くの方が参加した。また、今年度から、旭川空港からのウェルカムロードもゴミゼロキャンペーンに参加した。	旭川空港からのウェルカムロードにも広がり、さらにたくさんの方や団体が参加できるようにする。	ルート運営代表者会議
	ボランティアサポートプログラムによる、花植栽の支援	ボランティアサポートプログラムによる、花植栽の支援	旭川開発建設部	平成19年6月		ボランティアサポートプログラムにより、花の苗代を深山峠地区とフラノーブルマツオ前の植栽活動に支援。	沿道の花を彩ることで、ルートのサブテーマ「四季が彩る花人街道」の演出に寄与した。今後も、継続して実施する。	深山峠観光開発振興会、フラワーランドかみふらの
		花の植栽への苗や堆肥の支援	東川町	平成19年6月		東川町では、沿道の花の植栽活動について、花の苗代など支援。	沿道の花を彩ることで、ルートのサブテーマ「四季が彩る花人街道」の演出に寄与した。今後も、継続して実施する。	東川町花倶楽部
		JRと国道の間の帰化植物除去に関する調整及び活動への参加	旭川開発建設部	平成19年6月28日(木)		地域活動団体によるJR敷地、国道敷地の帰化植物の除去活動を実施するにあたり、JR北海道との調整を行い、活動に参加した。当日は、約20名の方が参加し、2キロの草刈りを実施。	地域で継続的に実施できるように、今後も協力する。	NPO法人グラウンドワーク西神楽
	活力ある地域づくり	ウィンターサーカス 2008 in 大雪・富良野ルートでの雪のランドアート制作協力	旭川開発建設部、上富良野町	平成20年2月2日、3日		上富良野、見晴台公園の会場では、ランドアート設置場所を提供。制作についても協力。また、西神楽地区では、ランドアートのベースとなる雪を、国道の排せつした雪を運び込み協力した。	ルートの新たな冬イベントとして、定着しつつあり、継続的な実施に向けた、活動資金の捻出の検討や参加箇所の拡大などを検討する。	NPO法人グラウンドワーク西神楽、上富良野町商工会商業部会
		ウィンターサーカスと連携し、西神楽と上富良野にて、雪の授業を開催。	旭川開発建設部、上富良野町	西神楽:平成20年1月28日、上富良野:平成20年2月2日		西神楽では、聖和小学校と連携し、「雪」に関する授業と雪の結晶を使ったアートワークを行った。上富良野では、教育委員会と連携し、上富良野小学校と上富良野西小学校の放課後クラブの生徒に呼びかけ、雪の課外授業を実施。	参加した子供には、大変好評であり、今後は景観やシーニックなども教育の一部に取り入れたプログラムも検討する。	NPO法人グラウンドワーク西神楽、上富良野町商工会商業部会
	コリドーとしての連携や参加意識の醸成	シーニックバイウェイフォトコンテストパネル展について協力	旭川開発建設部	JR札幌駅:平成20年1月19日、20日イオン旭川:平成19年1月25日、26日		ルートPR及びフォトコンテストのPRを目的に、JR札幌駅と旭川イオンで平成19年フォトコンテスト入選作品やウィンターサーカスパネル、ルート説明パネルなどのパネル展を実施。	今年度は、人が多いJR札幌駅やイオン旭川で実施でき、効果があった。今後も人が多い場所のできるようにする。	みち・沿道景観フォトコンテスト実行委員会
各自自治体の広報に関するアンケート実施。		旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村	平成20年1月		ルート運営行政連絡会議を構成する各行政機関に対して、各行政機関が実施している広報とルート情報を発進する上での支援可能な媒体や条件について、アンケートを実施。	今後の広報における支援の検討材料とし、シーニック活動の広報支援を充実できるように検討する。		

り	農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり	ウィンターサーカス 2008 in 大雪・富良野ルートでの、プロジェクトの貸し出し及び沿道の除雪等	旭川開発建設部	平成20年2月2日、3日		ウィンターサーカスで使用する、プロジェクターを貸し出し。雪のランドアートに映し出される、映像が好評であった。国道からの眺望を確保するために、沿道の雪を除雪することで、道路利用者へアピールが出来た。	ルートの新たな冬イベントとして、定着しつつあり、継続的な実施に向けた、活動資金の捻出の検討や参加箇所の拡大などを検討する。	NPO法人グラウンドワーク西神楽、上富良野町商工会商業部会
	地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保全活動を推進	過年度に実施した歴史的景観資源調査の結果を地域に情報提供を行った。	旭川開発建設部	平成19年12月		ルートや地域の歴史などを、地域活動団体が検討するにあたり、過年度実施した内容を地域に情報提供を行い、検討の材料とした。	ルートのストーリーとなるように、地域生活者の視点を入れて、ストーリーの検討を行う。	富良野エコミュージアム、ラジオふらの、グリーンステージ、旭川都市田園会議
	ユニバーサルデザインの推進	おもてなしの地域づくりフォーラムへ協力及び参加	旭川開発建設部、旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村	平成19年9月29日		伊勢志摩バリアフリーツアーセンターの中村先生を呼び、観光とバリアフリーについてのフォーラムを開催。フォーラムの開催支援を行うと共に、フォーラムに参加し、これからの大雪・富良野ルートにおけるおもてなしの地域づくりを検討した。参加者は、約200名。	バリアフリーやユニバーサルデザインの視点を取り入れた、ルートづくりや地域づくりを検討する。	ルート運営代表者会議
観光振興	田園型リラクゼーション観光の充実							
	農業と連携した観光のしくみづくり							
	シーニック・ランドオペレーション機能の充実	道路情報板を活用した、「シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート」のPR	旭川開発建設部、旭川土木現業所	通年		国道237号及び道道の道路情報板に「シーニックバイウェイ」「大雪・富良野ルート」を表記し、PR活動を実施。道路利用者に対し「シーニックバイウェイ 大雪・富良野ルート」をPRすることが出来た。	道路利用者の全てに向けて、シーニックをPRすることが出来た。その他の広報媒体と連携し、より有効な広報を検討する。	
		地域FMを活用した、「シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート」のPR	旭川開発建設部	通年		コミュニティFM FMリベラー(旭川)ラジオふらの(富良野)を活用し、シーニックバイウェイ北海道や大雪・富良野ルートのPRを実施。地域住民の多くの方に、広報することが出来た。	ルートの情報発信を行っている事務局とさらに連携し、タイムリーな情報が流れるように検討する。	
		シーニックバイウェイの活動に関し、報道機関への投げ込みを実施	旭川開発建設部	通年		地域で実施されるシーニック地域の活動について報道機関への情報提供を通じ、新聞記事掲載を促した。「ゴミゼロ(清掃活動)キャンペーン」やウィンターサーカスなど各種イベントが新聞に掲載された。	地域で実施している活動が、新聞記事になることで、地域で活動を実施している団体のモチベーション向上に繋がった。	
		ウィンターサーカス 2008 in 大雪・富良野ルートでのチラシ・ポスターの印刷、配布	旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村	平成20年2月2日、3日		ウィンターサーカス2008in大雪・富良野ルートをPRする為にチラシやポスターを印刷し、各関係機関、地域団体や道の駅に配布した。様々なところでチラシが配布され、ポスターが掲示されたことにより、多くの方がウィンターサーカスに訪れた。	ルートの新たな冬イベントとして、定着しつつあり、継続的な実施に向けた、活動資金の捻出の検討や参加箇所の拡大などを検討する。	
		ウィンターサーカス 2008 in 大雪・富良野ルートのホームページへのリンクを実施	旭川開発建設部、旭川運輸支局、旭川土木現業所	平成20年2月2日、3日		ウィンターサーカスのホームページへリンクを貼った、バナーを関係機関のホームページへ掲載。ウィンターサーカスのPR活動に協力した。	ルートの新たな冬イベントとして、定着しつつあり、継続的な実施に向けた、活動資金の捻出の検討や参加箇所の拡大などを検討する。	
ルート運営代表者会議等に出席し、様々な情報を活動団体に提供		旭川開発建設部	通年		各会議で地域活動団体に、行政機関から情報提供を行った。	ルート運営代表者会議や地域の会議に出席し、情報提供を行った。地域活動団体と顔の見える関係を今後も築いていく。	ルート運営代表者会議	

<p>支援センターで発行した情報誌(SCENE)を地域に配布</p>	<p>旭川開発建設部、旭川運輸支局、上川支庁、旭川土木現業所、旭川市、東川町、東神楽町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村</p>	<p>通年</p>		<p>支援センターで発行している情報紙を各市町村及び道の駅、各活動団体に配布。</p>	<p>配布箇所を検討を行い、さらに効果的な広報に努める。</p>	
<p>大雪・富良野ルートホームページへのリンク</p>	<p>旭川開発建設部、旭川土木現業所、旭川市、富良野市、東神楽町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村</p>	<p>通年</p>		<p>シーニックバイウェイの広報の為に、大雪・富良野ルートのホームページやシーニックバイウェイのホームページへのリンクを掲載し</p>	<p>シーニックバイウェイや大雪・富良野ルートの認知度向上の為に、今後も継続的に実施する。</p>	<p>ルート運営代表者会議</p>

3. 地域及び行政の運営に関する報告

・大雪・富良野ルート

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:副代表 北島 滋・佐々木 淳(代表不在の為)	報告年月:2008/3/31
-----------------	----------------------------	----------------

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営 に関わる事 項	運営委員会		● 4/4			● 7/24				● 11/7 ● 11/27					
	代表者会議		● 4/24												
	大雪景観倶楽部						● 8/17			● 11/2	● 12/7				
	237花倶楽部		● 4/24		● 6/25			● 9/13			● 12/26	● 1/11			
	ふらの倶楽部						● 8/27								
参加人数															

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:旭川開発建設部	報告年月:2008/3/31
-----------------	-------------	----------------

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事 項	行政連絡会議の実 施						● 8/28								
参加人数															

4. 審査委員会意見に関する報告

・大雪・富良野ルート

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:副代表 北島 宏・佐々木 淳(代表不在の為) / 旭川開発建設部	報告年月:2007/3/31
-----------------	--------------------------------------	----------------

	大雪・富良野ルート運営代表者会議の報告	大雪・富良野ルート行政連絡会議の報告	備考
シーニック バイウェイ ルート全体 に対する意見	景観への取り組み:景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニティビジネスの創出	有限責任中間法人シーニックバイウェイ大雪・富良野ルートの事務局体制の確立を検討し、シーニックバイウェイにおけるコミュニティビジネスの検討を進める。また、景観としての取り組みは、沿道清掃活動「ゴミゼロキャンペーン」や花の植栽活動、沿道の除草活動を継続して実施。ウインターサーカスでは、雪のサイン等の検討も実施。	情報拠点などコミュニティビジネスとなりうる地域活動について、広報活動の支援や情報提供などを行い協力した。
	持続性の確保:参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用	沿道清掃活動「ゴミゼロキャンペーン」や花の植栽活動、沿道の除草活動は継続し、活動を実施しているが、今後の継続及び事業としての実施に向かい、活動や成果に対するアドバイザーの確保が重要と考えられる。	おもてなしの地域づくりフォーラムを開催し、伊勢志摩バリアフリーツアーセンターの中村先生をお招きし、これからの大雪・富良野ルートにおけるおもてなしの地域づくりの提案や検討を行った。
	地域特性の活用:北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保	「ウインターサーカス2008 in 大雪・富良野ルート」において、地域とアーティストが連携し、冬の地域資源「雪」を活用したランドアートを制作。	
	ホスピタリティ向上:研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成	ルートコンシェルジュの一環としてルート内の歴史資源や地域資源についての検討及び意見交換等を実施。具体の歴史資源等の調査と共に、人材育成を含めたコンシェルジュのあり方を検討する。	西神楽の聖和小学校と上富良野にて、教育プログラムを実施。雪に関する授業や雪のアートワークなどを行った。
	全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携	「ウインターサーカス2008 in 大雪・富良野ルート」において、東日本高速道路株式会社と連携し、高速道路のパーキングエリア・サービスエリアにおいて、ウインターサーカスを大学の協力も得て展開。	ウインターサーカス2008 in 大雪・富良野ルートでは、東日本高速道路株式会社と連携し、イベントを開催。また、民間施設から協賛をもらった。
	開かれた運営体制:継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	ゴミゼロキャンペーンなど、地域住民や地域団体が多く参加できる活動を継続的に実施するとともに、ルート運営体制強化に向けて、中間法人を中心としたルート運営のあり方を検討。	JR札幌駅や旭川イオンなどにパネル展を実施し、大雪・富良野ルートのPRを地域住民などに行った。
	既存観光地からの脱却を目指し、歴史・文化・レクリエーションなど幅広く地域の個性を生かした新たなツーリズムの展開に向けた取り組みの実施	ウインターサーカスなど新たな冬のイベントを創出。また、ルート内の景観資源や地域資源について発掘、新たなツーリズム等を視野に入れた検討を実施。	昨年度に実施した歴史的景観資源調査の結果を地域に提供し、今後のルートの歴史的ストーリーづくりに向けた検討の材料とした。
大雪・富良野 ルート	TVやCMでの知名度と自然、農業等の地域固有の資源との調和が必要である。	各地域の情報拠点では、ルート内の景観資源や地域資源等についての情報発信を実施。また、西神楽の情報拠点では、産直も実施。今後は、地域固有の資源を直接的に伝える情報拠点の情報発信の充実等を含め、さらなる情報発信の検討する。	
	地域住民、コミュニティ、多種多様な主体の参加・協働を一層進めるとともに、広域的な連携を行い、特に市街地部、屋外広告物等の景観の改善や自然との調和、郊外部と市街地との連携、視点場の設定と演出等に取り組んでいく必要がある。	地域住民や様々な活動団体が連携した「ゴミゼロキャンペーン」や沿道の除草活動を、継続的に実施。また、ルートにおけるサインの検討を関係行政と検討。今後は、さらにルートとしての景観ルールなどを検討。	大雪・富良野ルートの情報拠点における案内サインを検討し、試験的に設置。サイン設置後は、サインの効果を検討すると共に、地域活動団体の意見を収集し、今後のあり方を検討した。
	「花人街道」の取り組みの成果と評価を行い、その知見を今後の活動計画に反映されたい。	今年度の試験的に実施した情報拠点サインについては、花人街道のロゴを使用した。今後は、ルートと花人街道との連携を視野に入れ、様々な活動等を実施する。	試験的に設置した情報拠点サインの冬期カバーでは、「花人街道」のロゴを活用し、シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルートのPRと共に、花人街道のPRも行った。今後は、花人街道とのさらなる連携を検討し、活動計画に反映させる。
	本地域の特色ある自然・歴史・文化・地域の生活等を生かしつつ、主要産業である農業と連携した新たなツーリズムの取り組みについても検討されたい。	各地で地域農産物や特産物のPRを兼ねたイベントを実施。また、ルートの歴史に関する検討も実施。地域農業やルートの歴史を活用した検討を進め、具体の取り組みにつなげる。	

5. 平成18年度活動報告への助言に対する状況報告

・大雪・富良野ルート

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:副代表 北島 滋・佐々木 淳(代表不在の為)	報告年月:2008/3/31
-----------------	----------------------------	----------------

平成18年度活動報告への助言	平成19年度 状況報告	備考
①変遷する社会情勢を踏まえつつ、ルート運営活動計画の更新を検討されたい。	<p>大雪・富良野ルートとして、平成19年度に「チームマイナス6%」に登録し、シーニックバイウェイ北海道推進協議会が策定した「エコドライブ」の推進などCO2削減を視野に入れた環境への取り組みを実施している。また、エコツアーの開催など環境をテーマとした観光について検討を行い、具体的な取り組みへと向かう。</p> <p>また、大雪・富良野ルート内の富良野地域においても、外国人旅行者が急増しており、情報整備を含め検討を進めている。</p> <p>ルート運営活動計画についても、環境への取り組みや外国人観光客への対応などを取り入れる為に、今後、さらに検討を進める。</p> <p>大雪・富良野ルートとしては、ルート運営活動計画を策定して3年が経過した。シーニックバイウェイ北海道の指定ルートとなり、現在までにルート運営活動計画に沿って、景観づくり、地域づくり、観光振興と様々な活動を実施してきた。</p> <p>平成18年度から平成19年度にかけて、大雪・富良野ルート内の組織の見直しや事務局の確立も含めて、ルート全体の理念や活動方針を運営委員会にて検討を進めてきた。</p> <p>今後は、ルート運営代表者会議を含めて、ルート運営活動計画の更新・改訂を検討し、ルート理念の再構築と情報共有を含めて、ルート運営代表者会議にて検討をさらに進める必要がある。</p>	

ルート名称:大雪・富良野ルート	報告者:旭川開発建設部	報告年月:2008/3/31
-----------------	-------------	----------------

平成18年度活動報告への助言	平成19年度 状況報告	備考
②ルート運営の更なる充実に向け、各ルートの状況に応じて、行政連絡会議における積極的な取り組みを期待する。	<p>今年度に関しては、ルート運営代表者会議との関係があり、ルート運営行政連絡会議の開催回数が少なかったが、今後は、ルート運営代表者会議との関係を考慮しながら、ルート運営行政連絡会議としても情報交換や情報共有を充実させるために、会議の開催回数を増やす。また、ウィンターサーカス2008in大雪・富良野ルートでは、行政の除排雪の雪を活用する具体的な取り組みもうまれており、今後はさらに具体的な取り組みを積み上げ、全体での取り組みとするように検討を行う。</p>	